

医学教育モデル・コア・カリキュラム ー教育内容ガイドラインー 改定にあたって

調査研究チーム(医学)
東京大学教授
名川弘一

文部科学省

モデル・コア・カリキュラム改定に関する連絡調整委員会
(改訂の決定)



モデル・コア・カリキュラム改定に関する専門研究委員会
(改訂素案の精査)



大 学

調査研究チーム(先導的大学改革推進委託事業)
(改訂素案の作成、評価システムの検討)

調査研究チーム

- ◆ 平成22年度 先導的大学改革推進委託事業
- ◆ 検討実施体制

	氏 名	所属・職
国立大学 法人	井上 玄	千葉大学大学院医学研究院(整形外科学)・助教
	北村 聖	東京大学医学教育国際協力研究センター・教授
	鯉淵 典之	群馬大学大学院医学系研究科(応用生理学分野)・教授
	小林 直人	愛媛大学大学院医学系研究科(医学教育学分野)・教授
	田中雄二郎	東京医科歯科大学附属病院総合診療部・部長・教授
	名川 弘一	東京大学大学院医学系研究科(腫瘍外科学分野)・教授
	奈良 信雄	東京医科歯科大学医歯学教育システム研究センター・センター長・教授
	錦織 宏	東京大学医学教育国際協力研究センター・講師
公立	後藤 英司	横浜市立大学大学院医学研究科(行動情報医学)・教授
私立	大滝 純司	東京医科大学(医学教育学)・教授
	平出 敦	近畿大学医学部附属病院救急診療部・部長・教授
一般病院・有 識者	嶋森 好子	東京都看護協会・会長
	古屋 彩夏	J R 東京総合病院小児科・医長

五十音順、敬称略

先導的~~大学~~改革推進委託事業

◆ 調査研究テーマ

医学・歯学教育の改善・充実に関する調査研究

◆ 検討項目

モデル・コア・カリキュラムの改訂に係ること

臨床実習等に係る評価システムの構築に係ること

モデル・コア・カリキュラムの改訂に係ること

- ◆ 国内ならびに国外のカリキュラムの実情を調査し、国内の各大学の意見反映や社会的ニーズも念頭に置き、これまでの改定に関する検討も踏まえて、改定素案の作成を行う。
- ◆ 平成21年5月にとりまとめられた「臨床研修制度の見直し等を踏まえた医学教育の改善について 医学教育カリキュラム検討会 意見のとりまとめ」の内容を検証する。
- ◆ ①臨床実習の系統的・体系的な充実、②地域の医療を担う意欲・使命感の向上、③研究マインドの涵養などの観点

モデル・コア・カリキュラムの改訂に係ること

◆ その他の検討項目

医学教育に係る様々な社会的ニーズ

医療安全、医療倫理、チーム医療、男女共同参画
等に対応した教育

医学・歯学教育指導者のためのワークショップ 7月28日（水）

◆ グループ別セッション（午前）

- ①モデル・コア・カリキュラムの改訂の方向性
- ②臨床実習に係る評価の在り方について

◆ 全体セッション（午後）

◆ グループ別全体報告会・総合討論（午後）

医学・歯学教育指導者のための ワークショップでの意見

◆ 基本的診療能力の確実な習得

- ・ 学習環境の整備
e-learning、スキルスラボ等の整備
医療事故に対する学生保険
電子カルテ：アクセス権限の吟味
学生記入用の領域
←問題ある記述の管理
個人情報：学生の誓約書
- ・ 学習内容の精選、自己主導型学習の充実
枝葉末節な内容、高度すぎるものを省く
⋮

医学・歯学教育指導者のための ワークショップでの意見

◆ 地域の医療を担う意欲・使命感の向上

- ・ 地域医療の魅力を伝える
- ・ モデルとなる医療スタイル：ビデオを作製する
- ・ 入学後に地域医療に対する意欲・関心を高める
- ・ 地域医療の教育理念や地域医療学等の充実
⋮

医学・歯学教育指導者のための ワークショップでの意見

- ◆ 基礎と臨床の有機的連携による研究マインドの涵養
 - ・ 基礎臨床融合講座
 - ・ 研究室配属を充実
 - ・ MDPHDコース創設
 - ・ 卒業論文のようなものを作る
 - ・

医学・歯学教育指導者のための ワークショップでの意見

- ◆ 様々な社会的ニーズに対応した教育
医療安全、医療倫理、チーム医療、男女共同参画等
 - ・ 教養（準備）教育に入れる
 - ・ 卒後教育、病院機能評価、病院リスクマネジメント、法医学教室との連携が必要
 - ・ 医療倫理：群馬大学 医学哲学・倫理学講義
チーム医療：旭川医大 チーム医療講義
男女共同参画：旭川医大 講義
 - ・

臨床実習等に係る評価システムの構築に係ること

- ◆ 国外の先進事例を調査・把握し、国内の各大学の意見反映も図り、これまでの臨床実習等の評価に関する検討も踏まえて、評価システム素案の作成を行う。
- ◆ 検証事項
 - ①卒業時の到達目標や臨床研修との整合性、臨床実習段階で可能な医療行為を考慮し、各段階で必要な実習内容や技能等の実施履歴や評価を記録・蓄積できるシステム構築を検討すること、
 - ②多様な医療現場に触れ、様々な職種と協働し、患者と接する実習等の評価に、こうした実習等の指導に携わった学内外の他職種関係者や患者なども加わり、特に医療人としての基本的姿勢やコミュニケーション能力などに関する評価を多面的に行うシステム構築を検討すること、など

臨床実習等に係る評価システムの構築

- ◆ 臨床実習にかかる評価の在り方
 - ・ 学外実習：教育内容、評価を大学が審査する
 - ・ 臨床実習を総括的に評価・企画する組織
 - ・ 学生用電子カルテを採用
 - ・ SD (SP) 授与式（” 誓いの言葉” ）を行い、自覚を促す
 - ・ エポックの学生版
 - ・ 実習態度の評価：患者による評価
 - ・ 診療科間、実習病院間で評価の共通化

⋮